

3学年だより

仙台市立第一中学校
第33号

令和5年1月23日(月)

卒業に向けた“まとめや準備”も始めていきます！

2学期後半が始まって2週間が経ちました。実力考査、私立高校推薦入試が終わり、いつもの生活に戻ったような気がします。昼休みは、学級のボールを持って校庭に猛ダッシュ！サッカーやバレーボールをして気分転換をしている姿が見られます。比較的穏やかな天気が続いたので気持ち良かったと思います。(今後も良い天気が続けばいいなあ。そして、怪我には十分注意！)

今後の予定として、私立一般入試、国立高専、そして公立高校入試と各自の進路に向けて試練は続きますが、中学校生活のまとめや卒業に向けた準備等も計画的に行っていきます。

16日の6校時、“今年の一文字”を書きました。各学級の掲示コーナーに掲示予定です。早速我々も廊下に掲示しました。生徒同様、いろいろな思いやメッセージが込められているようです。

令和5年！ 私の漢字一文字！（教員10人分）

縁 裕 十 朝 暁 氣 楽 改 穩 始

有言実行！目標に向かって頑張ろう！

1月10日(火)、実力考査後の全校集会で学年を代表して6組のK・Mさんが、「新年の抱負」と題して作文を発表しました。ぜひ御一読ください。

新年の抱負

3年6組 K・M

今回の冬休みは例年とは違うものとなりました。明るいくリスマスソングも、紅白歌合戦も、おいしいお餅も全て受験へのカウントダウンのように感じました。私にとって二〇二二年は「はじめて」と「おわり」の二つをよく経験した年でした。例えば、修学旅行では、初めて実行委員になりました。人生の思い出になるような旅行を目指し、偉大な実行委員長の崔裕真さんの補佐役として副実行委員長を務め、活動しました。最後の合唱コンクールでは伴奏者としてみんなと入賞を目指し、おわると同時に長年続けてきたピアノの習い事をやめました。最後の学文会では暑い夏を乗り越えた仲間と共に吹奏楽部での活動に終止符を打ちました。最後のスポーツフェスティバルは初めて全校生徒での開催となり、私自身初めて念願の総合優勝を果たすことができました。このように昨年は「はじめて」と「おわり」をよく経験でき、寂しくも充実した一年だったと感じています。今年のことを考えるとまず、「乗り越えるべきは受験」と、三年生なら誰もが思うはずです。「受験はチーム戦」という言葉を私が初めて耳にしたときは、受かるかどうかは個人の努力次第だと思い、その言葉の意味が分かりませんでした。しかし、今ではこの言葉の意味が三年六組のおかげでよく分かります。朝、登校するとたくさんの人が勉強をしていて、私もやらねばとやる気を起こしてくれます。授業中は積極的に発言する人が多く、寝ている人がいたら起こしてあげたりなど授業に全員が参加している様子があります。数学の時間はさらに、学年主任である奥野先生の分かりやすく面白い授業に拍手が絶えません。このような六組の明るい雰囲気や学習に取り組みやすい環境をつくっていると感じ、「受験はチーム戦」という言葉に納得することができました。これからはますます受験が近くなり、不安も大きくなりますが、同じ一中生として、三年生全員で切磋琢磨しながら乗り越えていきたいです。思えば近づいているのは受験だけではありません。「卒業」という大きな節目が気づけばすぐそばまできています。小学生のときの卒業はコロナウイルスの影響で最後の二週間が休校となり、私は誰にも感謝を告げられないまま中学生になったことを後悔しています。なので今回こそは三年間お世話になった方々や楽しい時を共有した仲間たちにしっかりと感謝を伝え、卒業したいと思っています。入学式からもう三年が経とうとしています。あの頃、ぶかぶかなフォーマルを着て座っていた自分より、身も心も成長した自分が卒業式にいることを願いながら、残り三ヶ月間の中学校生活を全力で過ごし、群青に染まる、一中での記憶を残したいです。